

発行所  
青森県高等学校・障害児  
学校教職員組合  
青森市橋本1丁目2-25  
教育会館 017(734)7287  
編集発行人 田村儀剛  
購読料一部20円は組合費  
の中に含む

●高教組に加入を!  
高教組は教職員の生活と  
子どもたちの教育のために  
運動を進めています。

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ http://www.geocities.jp/aokokyoso/ ブログ http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/

# 働く者の団結で、生活と権利を守り 平和と民主主義、中立の日本をめざそう!

## ～第85回メーデー集会 in 青森～

参加していました。会場と  
なった青い森公園に37団  
体、340名が集まり、歌  
声、和太鼓演奏で華やかに  
開幕しました。式典では、  
加賀谷久輝青森市副市長ら  
3氏からの連帯あいさつ  
や、三村申吾知事ら6名の



No image

メーデー集会を盛り上げた、和太鼓の演奏

集会決議  
採択後は市内  
パレードがあ  
りました。官  
庁街や商店街  
にシユプレヒ  
コールを響か  
せ、市民に力  
強くアピール  
しました。パ  
レードの終点  
は合浦公園で  
した。参加し  
た多くの方々  
とパーベキュ  
ーを囲み、花  
見と合わせて  
交流を深めま

東青支部は県中央集会  
に参加しました。支部から  
の参加者は4名でしたが、  
高教組OBの方もたくさん  
優秀賞を獲得できました。

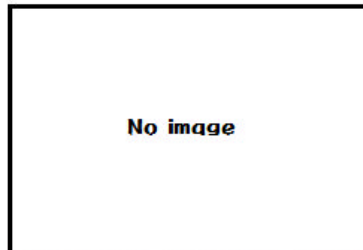
### 中央集会

5月1日(木)、今年も全国各地で『メーデー集会』が行われました。青森県内でも同様に、各地区でメーデー集会がありました。青森高教組は支部ごとにそれぞれ各地区のメーデー集会に参加し、様々な職種の方と、生活・賃金や労働条件、平和、脱原発などの多くの課題について共にアピールをすることができました。

メッセージ紹介がありまし  
た。東青支部は教育勅語復  
権の風潮を風刺したデコレ  
ーションを製作し、デコレ  
ーション審査に臨み、見事  
優秀賞を獲得できました。

参加して  
した。  
中南支部は中弘南黒地  
区集会に参加しました。主  
会場は弘前駅前公園です。  
趣向を凝らしたデコレーシ  
ョンやアピールを掲げたブ

### 中弘南黒地区



No image

若木山のデコレーションで参加した中南支部

ラカードなどを持って、18  
団体306名が集まりました。  
高教組中南支部からは  
現職1名のみが参加した  
が、高教組OBの方々の協  
力を得て、高教組参加のア  
ピールができました。  
今年、岩木山にアピ  
ールを貼りつけた被り物を  
製作し、デコレーション審  
査で優秀賞をいただくこと  
ができました。駅前公園で  
の集会終了後は、隊列を組  
み、弘前駅前から土手町を  
通り、桜満開の弘前公園ま  
でパレードをしました。さ  
くら祭り期間中であること  
もあり、県外からの観光客  
にも合わせて、私たちの願  
いをアピールすることがで  
きました。

▼今年も子ども達  
との新たな生活が  
始まった。これま  
で、たくさんの子  
ども達と過ごして  
きた▼Cちゃん。  
視覚障害と重い知  
的障害のある彼女  
は、一日中床に伏  
しているだけの子  
だった。ある日、私がオル  
ガンを弾きながら歌ってい  
ると、スツと顔を上げて微  
笑んだのだ。衝撃的だった。  
「私は何をすればいいのかわ  
らなくて深く子ども達  
のことを学ばなくては」と  
いう思いにさせられた。こ  
れが私の教師としての原点  
である▼Kちゃん。重い障  
害がある彼女は、言葉がな  
く寝たきりだった。4年間  
のかかわりの中で彼女は少  
しずつ変化していった。教  
材に視線を向けたり手を伸  
ばしたり、話しかけると笑  
顔で応えてくれたり。Kち  
ゃんには、教育とは何か、  
教師とは何かを教えられた  
ような気がする▼教師にな  
って三十数年。私はたくさ  
んの子どもの達に育てられ  
てきたのだと思う。これか  
ら子ども達との出会いを大  
切に、子どもにも学ぶ姿勢を  
忘れずにいきたい。(紅)

### 坂道の風

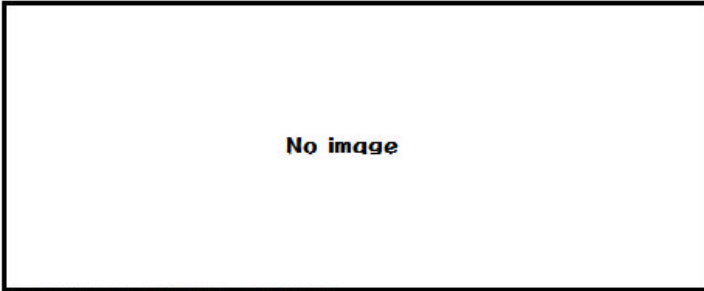
# 国や首長いいなりの教育に 変える教育委員会制度改革

## 今国会での成立断固阻止を!!

教育に対する首長の介入に道を開く教育委員会改悪法案(地方教育行政法改正案)が16日、衆院文部科学委員会採決され、自民、公明、生活の賛成多数で可決されました。今後、審議は参議院に移っていきます。審議の中でこの法案が憲法解釈の変更による集団的自衛権の発動など「戦争する国づくり」と一体のものであることがいよいよ明らかになってきました。

**教育行政に知事や市長など首長の政治的な考え方がより反映しやすいしくみに**

「改正」案は、①首長が教育に関する総合的な大綱を定めること、②首長と教育委員会が構成される総合教育会議を設けること、③教育委員会を廃止して、その権限を首長が任命・罷免できる新「教育長」に統合することなど、首長が直接教育に介入できる内容となっております。また、2007年の地教行法の改悪で導入された「文科大臣の是正指示」でできる内容について、児童や生徒の身体に被害が生じる「おそれ」やその「防止」にまで広げ、

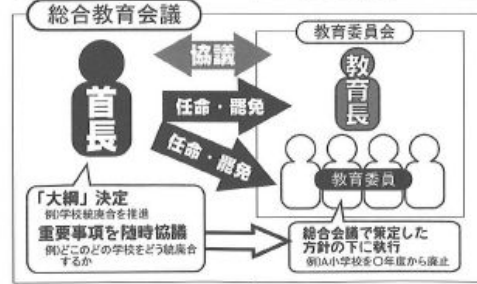
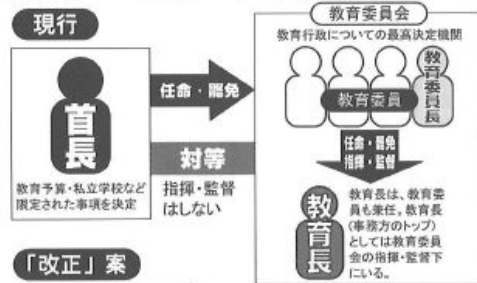


国の直接介入をしやすくしています。具体的には、学校や教育委員会の人事、教科書の選定、さらには学校統廃合なども首長が独断で決めることができるようになります。

下村文科大臣は、4月16日の委員会でごうしたしくみをつくることによつて、「土曜授業が加速度的にすすむ」と答弁し、政府や首長の思惑を教育に押しつけ、教育を政治利用することを隠そうともしませんでした。

**『多くの教育委員会が現行の制度でうまくいっているのになぜ?』**

政府が根拠としてきた「教育委員会が形骸化している」「責任の所在が不明確」について、審議を通じてそもそも成り立たない議論であることが明らかとなりました。



地教行法改正のイメージ

**68%の教育委員会が反対**  
子ども達の教育にゆがみ  
全教が4月に全国の教育委員会に対して行ったアンケート(回収数339)では「教育行政に首長の政治的考え方がより反映しやす

た。委員会で意見陳述した参考人の多くが教育委員会の現状やそれぞれの努力について言及し、下村文科大臣自らが「多くの教育委員会が現行の制度でうまくいっている」と答弁せざるを得ませんでした。さらに、「責任の所在が、今回の『改正』で変化はあるのか」と問われた下村文科大臣は、「これまでと変わらない」と答弁しています。「改正案」の前提が崩れてしまっ

いしくみに変えようとして「いること」について、反対(どちらかといえば反対を含む)が68%と7割近く、賛成(どちらかといえば賛成を含む)は14%にとどまりました。アンケートの理由欄の一部を紹介します。  
・政治と教育が基本的に結びついては、子どもたちの教育にゆがみが出てしまう。  
・地方教育行政は国や行政権から独立し、国民に直接責任を負って行われるべき

もの。大切な子どもたちの成長や発達をその時々々の首長の裁量に従属させるのは、現場の実態とあまりにもかけ離れている。  
・戦前の軍国教育等の例もみるように、政治介入による教育統制があつてはならない。安倍政権の教育改革の着地点が見えず、政治主導の教育改革だけを論じているように思える。  
**真の目的は「戦争する国」の作り**  
戦後、子どもたちの人格形成に関わる教育を、政治家が政治目的のために支配し、利用することができないように、教育委員会は国からも首長からも独立した制度として確立されました。

### 人事院がねらう主な改悪メニュー

- (1)公務員賃金の水準引き下げ(給料表の水準引き下げ)
- (2)地域手当の見直しなどで地方の公務員賃金引き下げ
- (3)高齢層(50歳代後半)の賃金引き下げ
- (4)技能・労務関係職(行(二)職員)の賃金引き下げ
- (5)その他(人事評価制度、職務、勤務実績に応じた手当見直しなど)

国家公務員の給料表全体を2ポイント台半ば引き下げた上で地域手当を支給していくことになり、東京の公務員賃金は民間より1.23%低いとしているので、現在0.18%で支給している地域手当(青森県はない)を東京など大都市圏は20%台まで引き上げ

の「人事院報告」で民間賃金水準が低い12の県を総合すると、公務員賃金が民間よりも2ポイント台半ば上回っていたとしています。この水準にあわせて給料表全体を2.5%ほど引き下げを勧告することが予想されます。この12の県とは青森県・岩手県・秋田県・山形県・鳥取県・島根県・高知県・佐賀県・長崎県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県です。

### 青森県を含めた「地方」の公務員賃金を2ポイント台半ば引き下げか?

人事院は、「50年ぶりの大改革」と銘打って、05年に「給与構造の改革」がおこなわれてから8年が経ち、人事院はふたたび「給与制度の総合的見直し」と称して、賃金水準引き下げ、地域間の賃金格差の拡大、高齢層の賃金抑制など全般的な制度改革を狙っています。人事院は14年夏の給与勧告時に「給与制度の総合的見直し」の詳細を報告に盛り込み、14年度中からの実施を目指しています。

### なりふりかまわぬ賃下げ攻撃!

# 「給与制度の総合的見直し」を許すな!

## 「見直し」のスケジュール

2013年8月 人事院報告「給与の総合的見直し」表明  
 2013年11月 給与取り扱い閣議決定  
 2014年5月下旬 「給与の総合的見直し」の具体案提示  
 2014年8月 人事院勧告「給与の総合的見直し」を勧告  
 2014年秋 勧告の閣議決定  
 ↓  
 給与法案の国会提出  
 2015年4月 新たな給与制度の実施  
 (一部は14年度中から実施)  
 賃金水準引き下げ、地域手当見直し、高齢者賃金引き下げなど

## 「メリハリのある給与体系」で管理職手当・部活動指導手当の増額

文科省は、2014年度概算要求説明資料として、「世界トップレベルの学力・規範意識を高くむかため」の観点から、教師力・学校力7か年戦略を公表し、今後7年間で計画的に実現していくためのありべき姿としての工

程を公表しました。その中に「メリハリある教員給与」が盛り込まれました。その内容は、①管理職手当(現行17.5%)を最高20%まで引き上げ②部活動指導手当等の増額(4年間で部活動指導手当2400円↓4800円・対外運動競技等引率指導手当3400円↓6800円)、③給料の調整額の引き下げ△13億円(特別支援担当教員のみ支給される給料の調整額を20%減)、④休職者等に対する教職調整額の在り方について検討、⑤教員評価結果の処遇への反映促進、です。

3月4日の参院予算委員会でみんなの党の中西健治氏と安倍首相の間で次のようなやりとりがありました。○中西氏「公務員の人件費削減措置がこの四月から廃止されます。…消費税増税がこの四月から行われるそ

り組む」。○安倍首相「公務員を取り巻く諸課題に対しては、臨時異例の措置ではなくて、恒久的な制度改革を実行に移すことでの確に対応していく考えでありまして、具体的には、より地域、民間の実態に合わせ、能力・実績が一層反映されるように給与体系の抜本的改革に取り組む」。

過労死ラインを超える長時間労働を放置しながら、さらに教員の間で格差と競争による分断と持ち込もうとする政府の姿勢は許されません。

# 全教運動の輪を広げ、共につながろう! ～全教女性部&障教部総会～

全教(全日本教職員組合)女性部第24回総会は4月12日(木)に開催されました。

討論では、「多忙化が進み、退職に追い込まれている人々もいる。」(兵庫)、「職場でマタハラ(マタニティハラ)スメント)問題があり、女性が働きづらい状況にある。」(奈良)等、深刻な状況が語られる一方で、「子どもの看護休暇が小6から中3に拡大。」(長野)、「1981年からの長い闘いの結果、高校の体育教員の妊娠中の勤務軽減が前進した。」(埼玉)等、権利拡大が進んでいる明るい報告もありました。

全教障害児教育部第25回総会は4月19日(土)に開催されました。

討論では全国的な傾向

として障害児学校の過大・過密化による障害児教育の場の貧困さが訴えられ、障害児学校にも『設置基準』が必要であると話し合われました。今回の総会には青年の参加があり、元気を分けてもらうことができました。これまで培われてきた障害児教育の拡大と、組合運動の成果を先輩から受け継ぎ、つないでいく『パトントリー』を大事にしていきたいことを確認しました。

しゃべって、しゃべって、しゃべりつづけた2つの専門部の総会。両総会ともつながることの大切さを実感した総会でした。

## 尊敬と感謝の気持ちをこめて

### 東青支部退職者激励会&歓迎会

4月28日(月)、昨年度で退職された2名の先生方と他管から転入された先生をお招きし、14名の参加で「激励会&歓迎会」を行いました。

退職された先生方からは、これまでの教員生活、組合活動での思い出を聞き、38年という長い間、組合員として高教組を支えてきていただいたことに尊敬と感謝の気持ちでいっぱいになりました。これからも現場で活動されるといふことで、ま

まだまだお世話になります。よろしく願います。今回の定期人事異動で東青支部は他管への転出も多かったのですが、転入して来られた先生方とも力を合わせ、活動を強めていこうという気持ちになることができた「激励会&歓迎会」でした。

## 青森高教組第75回定期大会

期日:2014年6月14日(土)

10:30~17:00

会場:青森県教育会館2階会議室



各支部からの出席をお願いします。  
分会状況を交流し、今年度の運動方針を決めます。

月々わずか 退職時には掛金が全額戻ります!

# 600円 総合共済

結婚・出産などの人生の節目にお祝い給付

毎月加入 できます

全教共済

# 『虎の穴川』

☆組合員限定教員採用試験対策講座

## 黒石温泉郷合宿

ゆったり温泉  
ひっきり学習

- 日時: 6月21・22日(土・日) (13:00~18:00, 9:00~12:00)
- 場所: 「津軽伝承工芸館」(学習講座) (TEL0172-59-5300)  
宿泊: 「旅の宿 齊川」(黒石板留温泉) (TEL0172-54-8303)
- 内容: 「教職・一般教養」「集団討論」演習  
「小学校・園工」演習

※履修申込み締め切りは6月16日(月)厳守。  
※参加申込み・問い合わせは下記まで。

青森県教職員組合(青森県教組)  
TEL: 017-734-7279 FAX: 017-777-1440 E-mail: aomoritu@jaa.itkeeper.ne.jp  
青森県高等学校・障害児学校教職員組合(青森高教組)  
TEL: 017-734-7287 FAX: 017-775-4221  
URL: http://www.geocities.jp/aokokyoso/ E-mail: aokokyos@olive.ocn.ne.jp